

科目名		社会科学講義(政治)				
科目名(英)						
単位数		6単位 (3単位に相当)	時間数	45時間/90時間	担当者	村田 祐貴子
実施年度		2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年		公務員中上級教養科1年				
授業概要		公務員1次試験において出題される政治分野の知識を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。				
授業形式		講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					社会科学の政治分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。
テキスト・教材 参考図書		・『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・担当講師によるオリジナルレジュメ				
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	統治機構 三権分立				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	2	統治機構 国会①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	3	統治機構 国会②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	4	統治機構 国会③				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	5	統治機構 国会④				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	6	統治機構 内閣①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	7	統治機構 内閣②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	8	統治機構 裁判所①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	9	統治機構 裁判所②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	10	統治機構 裁判所③				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	11	統治機構 地方自治①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	12	統治機構 地方自治②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	13	統治機構 地方自治③				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	14	日本国憲法の基本的性格①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	15	日本国憲法の基本的性格②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	16	統治機構 選挙制度①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	17	統治機構 選挙制度②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	18	民主主義の発展①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	19	民主主義の発展②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	20	各国の政治制度①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	21	各国の政治制度②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	22	各国の政治制度③				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	23	基本的人権の尊重 人権保障				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	24	基本的人権の尊重 自由権①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	25	基本的人権の尊重 自由権②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	26	基本的人権の尊重 自由権③				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	27	基本的人権の尊重 自由権④				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。

科目名	社会科学講義(経済)				
科目名(英)					
単位数	6単位 (2単位に相当)	時間数	30時間/90時間	担当者	村田 祐貴子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年				
授業概要	公務員1次試験において出題される経済分野の知識をオリジナルテキストを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで本試験の傾向を把握することができるようになる。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○				
	社会科学の経済分野について、本試験問題を解くのに必要な知識を習得する。				
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【社会科学】』(株式会社麻生キャリアサポート 2022年)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	経済のしくみ 市場と価格①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	2	経済のしくみ 市場と価格②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	3	経済のしくみ 市場と価格③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	4	経済のしくみ 市場と価格④			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	5	経済のしくみ 市場と価格⑤			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	6	企業のしくみ 企業の種類①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	7	企業のしくみ 企業の種類②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	8	景気と物価①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	9	景気と物価②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	10	景気と物価③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	11	金融と日本銀行の金融政策①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	12	金融と日本銀行の金融政策②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	13	金融と日本銀行の金融政策③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	14	金融と日本銀行の金融政策④			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	15	財政政策①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	16	財政政策②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	17	財政政策③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	18	為替レートと貿易①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	19	為替レートと貿易②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	20	為替レートと貿易③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	21	国際経済との関わり①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	22	国際経済との関わり②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	23	国際経済との関わり③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	24	国民所得と経済成長①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	25	国民所得と経済成長②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	26	国民所得と経済成長③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	27	現代日本経済の構造と課題①			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。

	28	現代日本経済の構造と課題②			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	29	現代日本経済の構造と課題③			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
	30	経済学史			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。		
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回に跨って説明することがある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	社会科学講義(社会時事)							
科目名(英)								
単位数	6単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/90時間		担当者	村田 祐貴子	
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年							
授業概要	公務員1次試験において出題される社会・時事分野の知識を、オリジナルテキスト、市販テキスト『速攻の時事』及び業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。							
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					社会科学の社会・時事分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。		
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【社会科学】』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・『公務員試験 速攻の時事 令和3年度試験完全対応』(資格試験研究会(編集)、実務教育出版、2022年) 担当講師によるオリジナルレジュメ							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	労働事情 労働三法					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	労働事情 労働問題					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	社会保障 社会保障制度①					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	社会保障 社会保障制度②					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	社会保障 少子化対策					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	社会保障 公的扶助					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	社会保障 障害者対策					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	環境問題 環境に関する条約					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	環境問題 エネルギー問題					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	環境問題 生態系					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	世界遺産・ノーベル賞					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	各種政策 観光					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	各種政策 消費者問題					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	世界経済					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	日本経済					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。							

科目名	人文科学講義(日本史)				
科目名(英)					
単位数	6単位	時間数	36時間/90時間	担当者	小川 文夫
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年				
授業概要	公務員1次試験において出題される日本史分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	目標				
	人文科学の日本史分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。				
テキスト・教材 参考図書					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	大和時代① 大和朝廷の制度			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	2	大和時代② 大化の改新			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	3	奈良時代① 政治史			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	4	奈良時代② 経済史、土地制度、文化			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	5	平安時代① 桓武・嵯峨天皇			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	6	平安時代② 摂関政治			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	7	平安時代③ 院政			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	8	平安時代④ 土地制度、文化			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	9	鎌倉時代① 開幕			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	10	鎌倉時代② 執権政治			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	11	鎌倉時代③ 社会の様子、文化			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	12	室町時代① 倒幕、南北朝期			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	13	室町時代② 政治制度、外交			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	14	室町時代③ 社会の様子			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	15	室町時代④ 戦国期			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	16	安土桃山時代 信長・秀吉の政策			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	17	江戸時代① 家康の統制、初期外交			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	18	江戸時代② 鎖国、文治政治			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	19	江戸時代③ 三代改革			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	20	江戸時代④ 天保の改革、外交			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	21	江戸時代⑤ 幕末・社会の様子			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	22	明治時代① 明治維新、初期外交			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	23	明治時代② 自由民権運動			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	24	明治時代③ 条約改正、日清・日露戦争			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	25	明治時代④ 貨幣、金融制度			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	26	大正時代① 護憲運動、第1次世界大戦			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	27	大正時代② 原敬、経済史			知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。

科目名	人文科学講義(世界史)										
科目名(英)											
単位数	6単位		時間数	35時間/90時間		担当者	小川 文夫				
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年										
授業概要	公務員1次試験において出題される世界史分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。										
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					人文科学の世界史分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。					
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメを使用する。										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	中世① フランク王国、神聖ローマ帝国					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	2	中世② 中世封建社会、十字軍					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	3	中世③ ルネサンス					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	4	中世④ 大航海時代					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	5	中世⑤ 宗教改革					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	6	近世① 絶対王政					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	7	近世② 市民革命					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	8	近代① 産業革命					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	9	近代② フランス革命					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	10	近代③ ウィーン体制					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	11	近代④ 南北戦争					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	12	近代⑤ 帝国主義、アメリカ分割					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	13	近代⑥ 帝国主義、アジア、バルカン半島					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	14	現代① 第一次世界大戦					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	15	現代② 戦後					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	16	現代③ ヴェルサイユ体制					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	17	現代④ 世界恐慌					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	18	現代⑤ 第二次世界大戦					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	19	現代⑥ 戦後					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	20	現代⑦ 冷戦					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	21	中国史① 殷～前漢					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	22	中国史② 前漢～唐					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	23	中国史③ 宋～元					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	24	中国史④ 元～明					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	25	中国史⑤ 明～清					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	26	中国史⑥ 清(アヘン戦争)					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	27	中国史⑦ 清(義和団事件)					知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				

	28	中国史⑧ 中華民国	知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	29	中国史⑨ 中華人民共和国	知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	30	演習1	間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。				
	31	演習2	間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。				
	32	演習3	間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。				
	33	演習4	間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。				
	34	演習5	間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。				
	35	演習6	間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。				
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義(地理)						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	19時間/90時間		担当者	小川 文夫
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される地理分野の知識を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人文科学の地理分野について、本試験問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメを使用する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地形① 大地形				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	地形② 海岸地形・その他の地形				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	気候① ケッペン				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	気候② ケッペン、気圧、風				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	気候③ 気候区分				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	気候④ 気候区分、グラフの見方				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	農業① 農業区分				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	農業② 各農業の特色①				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	農業③、漁業 各農業の特色②				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	地下資源① エネルギー資源				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	地下資源② 鉱山資源				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	工業① 工業の特色				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	工業② 各地域の工業				知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	演習1				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	15	演習2				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	16	演習3				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	17	演習4				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	18	演習5				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
	19	演習6				間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。	
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元につき複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学基礎講義(物理)						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	18時間/90時間		担当者	上村 一則
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される物理分野の知識を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					自然科学の物理分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	速度と加速度①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	速度と加速度②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	力のつり合い①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	力のつり合い②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	力のつり合い③				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	力のつり合い④				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	ばね・浮力				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	滑車・天びん				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	運動量とエネルギー①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	運動量とエネルギー②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	運動量とエネルギー③				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	波動①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	波動②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	波動③				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	電気と磁気①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	16	電気と磁気②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	17	原子と原子核①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	18	原子と原子核②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(化学)						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	21時間/90時間		担当者	上村 一則
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される地学分野の知識を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自然科学の化学分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	物質の構造①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	物質の構造②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	物質の構造③				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	物質の構造④				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	化学反応式①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	化学反応式②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	物質の状態①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	物質の状態②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	酸と塩基①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	酸と塩基②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	酸化・還元①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	酸化・還元②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	気体の性質と溶解度①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	気体の性質と溶解度②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	周期表と非金属元素①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	16	周期表と非金属元素②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	17	金属元素①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	18	金属元素②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	19	有機化合物①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	20	有機化合物②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	21	環境				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(生物)				
科目名(英)					
単位数	6単位	時間数	30時間/90時間	担当者	上村 一則
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年				
授業概要	公務員1次試験において出題される生物分野の知識を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	自然科学の生物分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。				
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・担当講師によるオリジナルレジュメ				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	生体のつくり			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	2	細胞分裂①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	3	細胞分裂②			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	4	生殖①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	5	生殖②			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	6	遺伝①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	7	遺伝③			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	8	酵素①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	9	酵素②			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	10	同化①(光合成①)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	11	同化②(光合成②)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	12	同化③(窒素同化①)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	13	同化④(窒素同化②)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	14	異化①(呼吸①)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	15	異化②(呼吸②)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	16	異化③(発酵)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	17	刺激と反応①(神経系)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	18	刺激と反応②(目・耳・筋肉)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	19	恒常性と調節①(血液①)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	20	恒常性と調節②(血液②)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	21	恒常性と調節(自律神経)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	22	恒常性と調節(免疫)			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	23	植物の反応①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	24	植物の反応②			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	25	動物の行動①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	26	動物の行動②			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。
	27	生態系①			一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。

	28	生態系②	一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	29	進化①	一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
	30	進化②	一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。				
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義(地学)						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	21時間/90時間		担当者	上村 一則
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	公務員1次試験において出題される地学分野の知識を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを用いて習得する。 また、公務員本試験の過去の問題を解くことで、本試験の傾向を把握することができるようになる。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自然科学の地学分野について、本試験の問題を解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	地球の構造①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	2	地球の構造②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	3	地震①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	4	地震②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	5	岩石・火山①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	6	岩石・火山②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	7	大気の構成①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	8	大気の構成②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	9	天気①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	10	天気②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	11	地球の運動①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	12	地球の運動②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	13	太陽系の天体①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	14	太陽系の天体②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	15	太陽系の天体③				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	16	月①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	17	月②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	18	恒星とその進化①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	19	恒星とその進化②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	20	地球の歴史①				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
	21	地球の歴史②				一般知識演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。	
評価方法	4月～7月の間、毎週実施する確認テストの点数結果により評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎					100%
履修上の注意	一般知識演習は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明することもある。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	数的処理講義(判断推理)							
科目名(英)								
単位数	12単位 (6単位に相当)		時間数	90時間/180時間		担当者	花水 倫尚	
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年							
授業概要	公務員採用試験で最重要科目・分野である判断推理について、その頻出テーマをオリジナルテキストとデジタル教材を使用して学習し、解法を理解する。 また、本試験と同内容・同程度の問題に対する解き方を身に付ける。							
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					各単元の基本問題について、解法を理解する。		
		○				本試験と同内容・同程度の練習問題に対する解き方を身に付ける。		
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	数的処理について						
	2	対応関係					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	3	道順・位相					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	4	順序関係					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	5	平面図形					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	6	うそつき					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	7	展開図(1)・展開図(2)					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	8	論理					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	9	集合・人数					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	10	軌跡					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	11	試合・勝敗					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	12	多面体・切断・回転					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	13	空間図形の投影					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	14	位置・方位					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	15	空間図形の分割					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	16	手順					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	17	数量推理					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	18	暗号					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
	19	折り紙					授業で扱った問題の反復及びテキスト内の関連問題を必ず解く。	
評価方法	確認テストの成績結果を基礎に評価を行う。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	確認テスト	○	◎				100%	
履修上の注意	評価の対象となる確認テストは、授業内で実施する。 デジタル教材を使用するためスマートフォン・タブレットを準備し受講してください。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。							

科目名	数的処理講義(数的推理)							
科目名(英)								
単位数	12単位 (6単位に相当)		時間数	90時間/180時間		担当者	田辺 英彦	
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年							
授業概要	公務員採用試験で重要科目・分野である数的推理について、その頻出テーマを授業内で配布されるオリジナルレジュメ・デジタル教材を使用して学習し、解法を理解する。 また、本試験と同内容・同程度の問題に対する解き方を身に付ける。							
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					各単元の基本問題について、解法を理解する。		
		○				本試験と同内容・同程度の練習問題に対する解き方を身に付ける。		
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメ、デジタル教材を使用する。							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	濃度				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	2	仕事算・ニュートン算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	3	平均・年齢				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	4	三角形と多角形				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	5	旅人算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	6	通過算・流水算・時計算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	7	約数・倍数				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	8	円・面積(三角形)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	9	場合の数(数え上げ・順列)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	10	場合の数(組合せ・余事象・順列と組合せ・仕切り法)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	11	確率				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	12	面積(円・扇形)・面積(その他)				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	13	数列・規則				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	14	比と割合				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	15	売買損益				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	16	立体				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	17	整数・記数法				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	18	一次方程式				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	19	連立方程式				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	20	不等式・不定方程式				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
	21	魔方陣・覆面算・虫食い算				授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。		
評価方法	確認テストの成績結果を基礎に評価を行う。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		○	◎				100%
履修上の注意	評価の対象となる確認テストは、授業内で実施する。 デジタル教材を使用するためスマートフォン・タブレットを準備し受講してください。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。							

科目名		人物試験対策・試験情報ガイダンス講義				
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	花水 倫尚	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年		公務員中上級教養科1年				
授業概要		人物試験としての個別面接、集団面接、及び集団討論の要領を理解する。論文の形式・内容を理解し、本試験で評価を得る答案を書ける力を培う。面接カードの典型的質問事項について、回答の要領を理解し、実際に書ける力を養う。併せて、各試験の内容、職種及び業務内容を理解する				
授業形式	講義： ○	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					公務員人物試験の各種類の要領を理解する。
		○				公務員論文試験に必要な論文作成能力を身に付ける。
		○				公務員面接試験に必要な面接カード、エントリーシート作成能力を身に付ける。
	○					各試験の内容、職種及び業務内容を理解する。
テキスト・教材 参考図書		・『公務員試験 面接・訪問カードの書き方・つくり方』(今村潤平著、あさ出版、2022年) ・回によっては説明プリントを配布することがある。				
授業計画	回数	授業項目・内容				
	1	人物試験対策1-1【2次試験対策について】				
	2	人物試験対策1-2【2次試験対策について】				「自分史」について自己分析シートを作成
	3	人物試験対策2-1【自己分析①“自分史の作成”】				「自分史」について自己分析シートを作成
	4	人物試験対策2-2【自己分析①“自分史の作成”】				「長所・短所」について自己分析シートを作成
	5	人物試験対策3-1【自己分析②“長所”と“短所”について】				「長所・短所」について自己分析シートを作成
	6	人物試験対策3-2【自己分析②“長所”と“短所”について】				
	7	人物試験対策4-1【論作文試験対策①】				
	8	人物試験対策4-2【論作文試験対策①】				
	9	人物試験対策5-1【面接試験のマナーや気をつける点について】				
	10	人物試験対策5-2【面接試験のマナーや気をつける点について】				
	11	人物試験対策6【集団討論について】				
	12	試験情報ガイダンス1【国立大学法人】				
	13	人物試験対策7【集団面接について】				
	14	試験情報ガイダンス2【市役所・町・村役場・特別区】				
	15	人物試験対策8【グループワーク・WEB面接試験について】				
	16	試験情報ガイダンス【消防士】				「自己PR」についてカード作成
	17	人物試験対策9【面接カード作成①：自己PR・自己紹介】				
	18	試験情報ガイダンス4【警察官】				「長所・短所」についてカード作成
	19	人物試験対策10【面接カード作成②：長所・短所】				
	20	試験情報ガイダンス5【国家公務員】				
	21	人物試験対策11【グループワーク模擬体験】				
	22	試験情報ガイダンス6【7月～10月 公務員採用試験について】				「力を入れたこと」についてカード作成
	23	人物試験対策12-1【面接カード作成③：力をいれてきたこと】				「力を入れたこと」についてカード作成
	24	人物試験対策12-2【面接カード作成③：力をいれてきたこと】				授業内で示した課題について答案作成
	25	人物試験対策13【論作文試験対策②】				
	26	試験情報ガイダンス7【都道府県庁】				「志望動機」についてカード作成
	27	人物試験対策14-1【面接カード作成④：志望動機】				「志望動機」についてカード作成

	28	人物試験対策14-2「面接カード作成④：志望動機」	「取り組みたい仕事」について・模擬面接カード作成				
	29	人物試験対策15-1【面接カード作成⑤：取り組みたい仕事・カードの総仕上げ】	「取り組みたい仕事」について・模擬面接カード作成				
	30	人物試験対策15-2【面接カード作成⑤：取り組みたい仕事・カードの総仕上げ】					
評価方法	面接カード作成指導は5回あり、各回において所定の課題についてカード作成を行う。その課題提出回数をもって、成績評価を行う。 S:5回、A:4回、B:3回、C:1～2回、D:0回。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	面接カード課題提出		◎				
履修上の注意	論文答案作成は成績評価の対象とはしないが、論文は重要な試験種目であるから、積極的に答案作成を行うこと。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	基礎能力試験対策演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	田辺 英彦		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	近年、公務員1次試験で採用の目立つ「SPI3・SCOA」試験について、その概要を理解し、解答方法・要領を習得する。						
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI3、SCOA試験問題につき、迅速かつ正確に解ける能力を培う。	
テキスト・教材 参考図書	担当講師によるオリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	基礎学力テスト				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	2	SPI・SCOA・Light試験について				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	3	SPI言語分野				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	4	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習①				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	5	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習②				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	6	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習③				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	7	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習④				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	8	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑤				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	9	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑥				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	10	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑦				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	11	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑧				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	12	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑨				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	13	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑩				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	14	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑪				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
	15	SPI3又はSCOAと同内容・同程度の問題演習⑫				貸出用書籍又は自己選択の問題集を用いて演習を行うこと。	
評価方法	授業内で実施する演習の成績結果を基礎に評価を行う。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内で実施する演習		◎				100%
履修上の注意	解答終了後、オンラインで解答を送信してもらう。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	適性演習						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	花水 倫尚
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	高卒程度公務員試験において課されることの多い「事務適性試験」対策として、本試験と同程度、同内容の問題の演習を行い、事務処理能力を身に付ける。						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				事務適性試験の要領を身に付け、事務処理の正確さ、速さに結びつける。	
テキスト・教材 参考図書	『高卒程度公務員試験対策 適性試験ステップ25 【基礎】編』(実務教育出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	事務適性試験について・適性演習①					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	2	適性演習②③					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	3	適性演習④⑤					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	4	適性演習⑥⑦					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	5	適性演習⑧⑨					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	6	適性演習⑩⑪					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	7	適性演習⑫⑬					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	8	適性演習⑭⑮					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	9	適性演習⑯⑰					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	10	適性演習⑱⑲					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	11	適性演習⑳㉑					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	12	適性演習㉒㉓					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	13	適性演習㉔㉕					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	14	適性演習㉖㉗					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
	15	適性演習㉘㉙					授業で扱った問題の反復練習を定期的に行う。
評価方法	授業内で実施する演習の成績結果を基礎に評価を行う。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	適性演習		◎				
履修上の注意	解答にあたっては、解答用紙を用いる予定である。ただし、点数集計のため、オンラインで解答送信をして頂く。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般知識演習				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	田辺 英彦、上村一則、 小川文夫、村田祐貴子
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年				
授業概要	一般知識分野(社会科学、人文科学、及び自然科学)について、講義で得た知識を用いて演習を行い、初級ないし中級程度の問題に対応できる解答力を身に付ける。 重要問題についての解説を聞くことで、自らの知識の見直しを行う。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
		○			
	○				
目標					
講義で得た知識を活かし、過去の本試験問題演習において、7割以上正解できる。					
解説の内容を踏まえて、自らの知識の正確さを確認する。					
テキスト・教材 参考図書					
テキストは使用しない。 講義を担当する講師作成の問題プリントを用いる。					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	一般知識演習①			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	2	一般知識演習解説①			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	3	一般知識演習②			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	4	一般知識演習解説②			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	5	一般知識演習③			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	6	一般知識演習解説③			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	7	一般知識演習④			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	8	一般知識演習解説④			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	9	一般知識演習⑤			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	10	一般知識演習解説⑤			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	11	一般知識演習⑥			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	12	一般知識演習解説⑥			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	13	一般知識演習⑦			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	14	一般知識演習解説⑦			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	15	一般知識演習⑧			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	16	一般知識演習解説⑧			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	17	一般知識演習⑨			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	18	一般知識演習解説⑨			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	19	一般知識演習⑩			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	20	一般知識演習解説⑩			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	21	一般知識演習⑪			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	22	一般知識演習解説⑪			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	23	一般知識演習⑫			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	24	一般知識演習解説⑫			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	25	一般知識演習⑬			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	26	一般知識演習解説⑬			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。
	27	一般知識演習⑭			解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。

	28	一般知識演習解説⑭		解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。			
	29	一般知識演習⑮		解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。			
	30	一般知識演習解説⑮		解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。			
評価方法	授業内で実施する演習の成績結果を基礎に評価を行う。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	一般知識演習	◎	◎				100%
履修上の注意	解答にあたっては、オンラインで解答送信をして頂きます。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般教養演習										
科目名(英)											
単位数	9単位		時間数		140時間		担当者		堀内尊功、上村一則、花水倫尚、 田辺英彦、名越大介		
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年										
授業概要	8月から実施する一般教養演習(模擬試験)において、公務員本試験の過去の問題を、本試験と同様の形式で解くことで、実践力を培う。										
授業形式	講義:			演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
		○				各本試験の過去の問題を解くことで、解答力を培う。					
	○					各科目の知識の確認をし、その理解を深める。					
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 過去の本試験問題を使用する。										
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示		
	1	過去試験問題1 ①②③							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	2	過去試験問題2 ④⑤⑥							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	3	過去試験問題3 ⑦⑧⑨							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	4	過去試験問題4 ⑩⑪⑫							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	5	過去試験問題5 ⑬⑭⑮							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	6	過去試験問題6 ⑯⑰⑱							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	7	過去試験問題7 ⑲⑳㉑							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	8	過去試験問題8 ㉒㉓㉔							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	9	過去試験問題9 ㉕㉖㉗							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	10	過去試験問題10 ㉘㉙㉚							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	11	過去試験問題11 ㉛㉜㉝							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	12	過去試験問題12 ㉞㉟㊱							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	13	過去試験問題13 ㊲㊳㊴							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	14	過去試験問題14 ㊵㊶㊷							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	15	過去試験問題15 ㊸㊹㊺							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	16	過去試験問題16 ㊻㊼㊽							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	17	過去試験問題17 ㊾㊿ 51)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	18	過去試験問題18 52)53)54)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	19	過去試験問題19 55)56)57)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	20	過去試験問題20 58)59)60)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	21	過去試験問題21 61)62)63)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	22	過去試験問題22 64)65)66)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	23	過去試験問題23 67)68)69)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	24	過去試験問題24 70)71)72)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	25	過去試験問題25 73)74)75)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	26	過去試験問題26 76)77)78)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		
	27	過去試験問題27 79)80)81)							解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。		

	28	過去試験問題28 82)83)84)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	29	過去試験問題29 85)86)87)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	30	過去試験問題30 88)89)90)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	31	過去試験問題31 91)92)93)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	32	過去試験問題32 94)95)96)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	33	過去試験問題33 97)98)99)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	34	過去試験問題34 100)101)102)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	35	過去試験問題35 103)104)105)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	36	過去試験問題36 106)107)108)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	37	過去試験問題37 109)110)111)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	38	過去試験問題38 112)113)114)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	39	過去試験問題39 115)116)117)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	40	過去試験問題40 118)119)120)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	41	過去試験問題41 121)122)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	42	過去試験問題42 123)124)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	43	過去試験問題43 125)126)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	44	過去試験問題44 127)128)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	45	過去試験問題45 129)130)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	46	過去試験問題46 131)132)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	47	過去試験問題47 133)134)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	48	過去試験問題48 135)136)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	49	過去試験問題49 137)138)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
	50	過去試験問題50 139)140)	解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。				
評価方法	8月～9月の2か月間、平日毎日実施する一般教養演習(模擬試験)の点数結果により評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	一般教養演習(模擬試験)	◎	◎				100%
履修上の注意	1回の演習の時間は2コマないし3コマである。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般教養解説講義						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	50時間		担当者	堀内尊功、上村一則、花水倫尚、 田辺英彦、名越大介
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員中上級教養科1年						
授業概要	8月から実施する一般教養演習(模擬試験)において、演習終了後にその解説講義を受講することで、改めて解法や知識を確認する。 以降の一般教養演習においてより高い得点を目指し、理解を確実なものとする。						
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					考え方や知識を確認し、同内容の問題の解法を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しない。 過去の本試験問題及び解説プリントを使用する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	過去試験問題1 知識・知能分野解説①				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	2	過去試験問題2 知識・知能分野解説②				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	3	過去試験問題3 知識・知能分野解説③				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	4	過去試験問題4 知識・知能分野解説④				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	5	過去試験問題5 知識・知能分野解説⑤				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	6	過去試験問題6 知識・知能分野解説⑥				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	7	過去試験問題7 知識・知能分野解説⑦				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	8	過去試験問題8 知識・知能分野解説⑧				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	9	過去試験問題9 知識・知能分野解説⑨				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	10	過去試験問題10 知識・知能分野解説⑩				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	11	過去試験問題11 知識・知能分野解説⑪				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	12	過去試験問題12 知識・知能分野解説⑫				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	13	過去試験問題13 知識・知能分野解説⑬				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	14	過去試験問題14 知識・知能分野解説⑭				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	15	過去試験問題15 知識・知能分野解説⑮				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	16	過去試験問題16 知識・知能分野解説⑯				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	17	過去試験問題17 知識・知能分野解説⑰				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	18	過去試験問題18 知識・知能分野解説⑱				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	19	過去試験問題19 知識・知能分野解説⑲				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	20	過去試験問題20 知識・知能分野解説⑳				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	21	過去試験問題21 知識・知能分野解説㉑				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	22	過去試験問題22 知識・知能分野解説㉒				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	23	過去試験問題23 知識・知能分野解説㉓				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	24	過去試験問題24 知識・知能分野解説㉔				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
	25	過去試験問題25 知識・知能分野解説㉕				解説受講後、当該本試験問題の解き直しをすること。	
評価方法	8月～9月の2か月間、平日毎日実施する一般教養演習(模擬試験)の点数結果につき、平均点からの差(＋－)を合計し、これを受験回数で割り、その値(商)を「一定の基準」の下に、100点を満点とする点数に換算する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	一般教養演習(模擬試験)	◎					100%
履修上の注意	解説講義を受講することで、次回の一般教養演習(模擬試験)において同様の問題を解くことができるように意識をする。2コマ/回。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		一般知識・知能直前対策演習				
科目名(英)						
単位数	6単位	時間数	100時間	担当者	堀内尊功、上村一則、岡田広一郎、 花水倫尚、田辺英彦、名越大介、村田祐貴子、小川文夫	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年		公務員中上級教養科1年				
授業概要		公務員試験の主要科目について、オリジナルレジュメを用いて、初級～中級レベルの公務員試験の過去問題の演習に取り組むことで、知識を定着させ、一般教養演習においてより高い得点を目指す。 また、復習すべき基礎的事項についての見直しをする。				
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
		○				本試験における標準レベルの問題について、解答力を培う。
	○					本試験における標準レベルの問題について、知識の確認・習得を行う。
テキスト・教材 参考図書		テキストは使用しない。 担当講師作成したオリジナルの解説レジュメを使用する。				
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	数的処理演習①②				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	2	社会科学演習①②				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	3	人文科学演習①②				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	4	自然科学演習①②				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	5	数的処理演習③④				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	6	社会科学演習③④				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	7	人文科学演習③④				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	8	自然科学演習③④				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	9	数的処理演習⑤⑥				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	10	社会科学演習⑤⑥				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	11	人文科学演習⑤⑥				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	12	自然科学演習⑤⑥				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	13	数的処理演習⑦⑧				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	14	社会科学演習⑦⑧				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	15	人文科学演習⑦⑧				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	16	自然科学演習⑦⑧				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	17	数的処理演習⑨⑩				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	18	社会科学演習⑨⑩				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	19	人文科学演習⑨⑩				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	20	自然科学演習⑨⑩				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	21	数的処理演習⑪⑫				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	22	社会科学演習⑪⑫				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	23	人文科学演習⑪⑫				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	24	自然科学演習⑪⑫				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	25	数的処理演習⑬⑭				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	26	社会科学演習⑬⑭				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。
	27	人文科学演習⑬⑭				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。

	28	自然科学演習⑬⑭	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	29	数的処理演習⑮⑯	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	30	社会科学演習⑮⑯	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	31	人文科学演習⑮⑯	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	32	自然科学演習⑮⑯	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	33	数的処理演習⑰⑱	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	34	社会科学演習⑰⑱	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	35	人文科学演習⑰⑱	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	36	自然科学演習⑰⑱	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	37	数的処理演習⑲⑳	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	38	社会科学演習⑲⑳	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	39	人文科学演習⑲⑳	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	40	自然科学演習⑲⑳	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	41	数的処理演習㉑㉒	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	42	社会科学演習㉑㉒	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	43	人文科学演習㉑㉒	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	44	自然科学演習㉑㉒	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	45	数的処理演習㉓㉔	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	46	社会科学演習㉓㉔	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	47	人文科学演習㉓㉔	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	48	自然科学演習㉓㉔	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	49	数的処理演習㉕	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	50	社会科学演習㉕	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
	51	人文科学演習㉕	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。				
52	自然科学演習㉕	間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。					
評価方法	8月～9月の間、毎日実施する一般教養演習（模擬試験）の結果より評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	一般教養演習（模擬試験）	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						